

食品等の検査状況

神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市および藤沢市では、県内に流通している食品の安全性を確認するために食品添加物、残留農薬などさまざまな検査を実施しています。違反食品等については、製造・販売者に回収や販売禁止など必要な措置をとるとともに、関係自治体に通報しました。

ここでは、平成22年度に実施した検査の概要をご紹介します。

食品添加物					平成 22 年度
検査品目	国産食品		輸入食品		
	検体数	違反数	検体数	違反数	
乳及びその加工品	59	0	16	0	
肉卵類及びその加工品	337	0	41	0	
魚介類及びその加工品	1,324	2	47	0	
野菜・果実及びその加工品	398	0	281	0	
穀類及びその加工品	106	1	14	0	
冷凍食品	5	0	17	0	
清涼飲料水	150	0	70	1	
酒類	18	0	120	0	
菓子類	205	0	245	0	
かん詰・びん詰食品	23	1	182	1	
器具・容器包装	0	0	5	0	
その他食品	253	0	92	0	
合 計	2,878	4	1,130	2	

残留農薬					平成 22 年度
検査品目	検体数	違反数	内 訳		
国産食品	農産物	392	1	トマト、きゅうり、こまつな、レタス、キャベツ、ほうれん草、なす、ばれいしょ、やまといも、大根、はくさい、りんご、なし、ぶどう、みかん、かき	
	畜産物	6	0	牛乳	
	水産物	3	0	鮎（あゆ）	
	加工食品	3	0	冷凍食品、菓子類	
	小計	404	1		
輸入食品	農産物	190	0	ほうれん草、アスパラガス、未成熟えんどう、えだまめ、ピーマン、ねぎ、しいたけ、しょうが、さといも、グレープフルーツ、バナナ、レモン	
	畜産物	14	0	牛肉、豚肉、鶏肉、	
	水産物	3	0	サーモン	
	加工食品	104	0	冷凍食品	
	小計	311	0		
合 計	715	1			



動物用医薬品 平成 22 年度

検査品目		検体数	違反数
国産食品	食肉	338	0
	鶏卵等	56	0
	魚介類	37	0
	乳等	18	0
	はちみつ	1	0
	魚介類加工品	8	0
	小計	458	0
輸入食品	食肉	86	0
	魚介類	69	0
	はちみつ	6	0
	魚介類加工品	6	0
	冷凍食品	6	0
小計	173	0	
合計	631	0	

抗菌性物質 平成 22 年度

検査品目		検体数	違反数		
			抗生物質	合成抗菌剤	
国産食品	食肉	1,398	0	0	
	鶏卵等	42	0	0	
	魚介類	62	0	0	
	乳等	36	0	0	
	冷凍食品	3	0	0	
	魚介類加工品	13	0	0	
	弁当・そうざい	2	0	0	
	小計	1,556	0	0	
	輸入食品	食肉	42	0	0
		魚介類	51	0	0
はちみつ		8	0	0	
冷凍食品		13	0	0	
弁当・そうざい		8	0	0	
小計		122	0	0	
合計	1,678	0	0		

環境汚染物質 平成 22 年度

水俣病の原因となったメチル水銀、工業分野で多く使われていた PCB、船底塗料や魚網の汚染防止剤として使われていた有機スズ化合物などを、環境汚染物質として検査しました。

◆総水銀◆

ppm：濃度の単位（100 万分の 1）

検査品目	検体数	検出数	検出範囲 (ppm)	規制値を超えたもの ※1
魚介類	141	131	0.002 ~ 0.94※2	0

※1 総水銀が 0.4ppm を超えたもののうち、メチル水銀が 0.3ppm を超えたもの

※2 魚介類のうち 4 検体が総水銀の規制値 0.4ppm を超えましたが、いずれも規制対象外の魚介類（キンメダイ）でした。

◆PCB◆

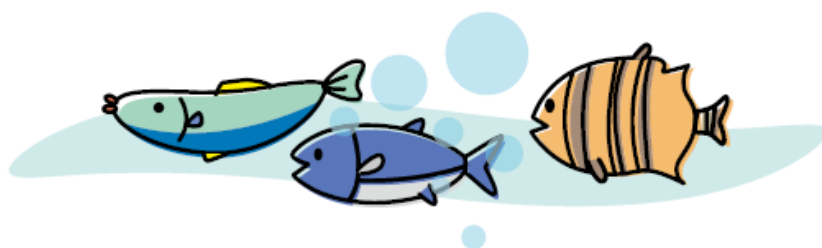
食品分類		検体数	検出数	検出範囲 (ppm)	規制値を超えたもの ※3
魚介類	遠洋	17	6	0.008 ~ 0.033	0
	内海	39	21	0.007 ~ 0.092	0
合計		56	27	—	0

※3 暫定的規制値：魚介類 遠洋沖合産 0.5ppm
内海内湾産 3ppm

◆有機スズ化合物◆

検査項目	検査品目	検体数	検出数	検出範囲 (ppm) ※4
TBT (トリブチルスズ)	魚介類	3	0	—
TBTO (トリブチルスズオキシド)		55	2	0.01 ~ 0.021
TPT (トリフェニルスズ)		58	9	0.01 ~ 0.019
DBT (ジブチルスズオキシド)		3	0	—
合 計		119	11	—

※4 規制値はありません。



遺伝子組換え食品

(平成 22 年度)

遺伝子組換え作物※5 (以下、作物) は国が行う安全性審査を受けなければいけません。

これらの作物が適正に使用、表示されていることを確認するため、安全性審査を受けていない組換え遺伝子の混入の有無を確認する定性検査および安全性審査済み組換え遺伝子の混入量を確認する定量検査を実施しました。

※5 大豆、とうもろこし、じゃがいも、なたね、わた、アルファルファ、てんさい、パパイヤ

検査項目	定性検査 (安全性未審査)				定量検査 (安全性審査済み)			
	検体数	適	不適	検知不能 ※6	検体数	適	不適	検知不能 ※6
食品名								
パパイヤ	1	1	0	0	—	—	—	—
とうもろこし穀粒	4	4	0	0	4	4	0	0
とうもろこし加工品	24	24	0	0	—	—	—	—
とうもろこし粉碎加工品	3	3	0	0	3	3	0	0
大豆穀粒	—	—	—	—	24	24	0	0
大豆加工品	—	—	—	—	31	31	0	0
米加工品	60	60	0	0	—	—	—	—
合 計	92	92	0	0	62	62	0	0

※6 検知不能：食品製造工程の加熱等により、遺伝子がすべて分解されて、検査ができなかったもの

